

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

7月20日

第3聖日

3361号

「クリスチヤンの望み」  
(Iテサロニ二連続講演第15回)

### 聖言

眠った人々のことについては、兄弟たち、あなた方に知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずで、テサロニケ I 4 : 13, 14

#### 礼拝の恵み<sup>⑬</sup> 第七章 第六部 礼拝のための力

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるのです。」(ヨハネ四ノ二三)  
礼拝のための力は神の第三位、聖霊である。

#### 第一節 聖霊の本質

聖霊の人格はキリストが聖霊のことを人格代名詞を使って呼んでおられる。「もしわたしが去っていかなければ、助け主があなたがたのところに来ないからです。しかし、もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところ遣わします。しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。」(ヨハネ一六ノ七、一二、一四)  
人格には三つの性質が必要である。知識或いは知性、感情或いは情緒、意志或いは意欲。父及び子と同じように聖霊もこれら三つの性質を有している。かれは知識をもっている。なぜなら、彼は「知る」(ローマ八ノ二七)。「教え」「思い起こさせ」(ヨハネ一四ノ二六)、「導いてくれ」「聞く」(ヨハネ一六ノ一三)。「語る」(ヨハネ一六ノ一三)。情緒がある。「悲しまれ」ることがある。意志がある。なぜならとりなしてくださる。(ローマ八ノ二六)。

(「礼拝」APギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年七月一三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「兄弟愛」(二テサロ三連続講演第十五回)

「兄弟愛については、何も書き送る必要はありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちだからです。」(テサロニケ一四ノ九)

兄弟愛とはフィラデルフィヤ。アメリカ第三の都市。独立宣言をしたところ。愛はギリシヤ語ではアガペー、フィレオー、兄弟愛、両親の愛、友情、好みなどを示す。エロース性的愛は聖書の中に使用されていない。6節のフィラデルフィヤすなわち、兄弟愛は信者間のことであり、直接的にはテサロニケ教会の信者間についてです。性的なきよさを保ちながら、積極的にマケドニヤ地方の兄弟を受け入れ、もてなし、なにくれとなく援助をしたのです。神を愛する者は見える兄弟に対して犠牲を払います。神を愛すると言いながら兄弟に対して関心を払わない人は本当に神を愛してはいません。きよさと兄弟愛は車の両輪です。高校時代にサッカーの同姓の友人がいました。名前で呼び捨てたので本当の兄弟のようでした。成田闘争、富士通不当解雇で権力に立ち向かい、横浜のドヤ街住むようになり胃がんの末期に病床を訪問しました。弱弱しい姿で病室の入り口で見送ってくれたのが最後でした。まもなく彼の夢を見ました。彼が福祉事務所で働いて、ホームレスや親のない小さな子どもの世話をしていました。私はもっと福音を宣べ伝えていたら後悔しました。クリスチャンはそれ以上に兄弟を愛するものです。自分のために利用してはいけません。ある人はテストの時に友人を利用してあげます。遊びの時の友人がいます。困った時に親身になって助けてあげるこれが友人です。イエスさまが語った譬があります。(ルカ一〇ノ三〇) 旅人がエルサレムからエリコに

下る途中に強盗に襲われ半殺しの目に遭い苦しんでいました。そこにいつも愛をとく祭司が一人通りました。死に掛けの人に気付くと反対のほうを避けて通りました。次に神に仕えるレビ人が通りました。彼も同じく知らない振りをして通り過ぎました。三番目に敵対しているサマリヤ人が通りました。かれは可哀想に思い、オリブ油をぬって傷口を消毒して、ぶどう酒を飲ませ、ロバにのせて宿屋に連れて行き、主人にお金を渡して介護を依頼しました。そして、旅から帰ったならかかった費用を払うからといって旅立ちました。本当の隣り人はだれでしょうか。兄弟愛をもっているのはだれでしょうか。私たちの愛は計算的であり、感情的であり、損をすることを好みません。テサロニケの信者の中にはイエス様が再臨するのだからといって、仕事もせず、ぶらぶらするものもある始末です。教会はそれらの人の世話をすることで苦労していました。本当の兄弟愛のある信者は、再臨を待つ花嫁のごとく、また毎日の生活のために額に汗をかかなければなりません。ルターは「私は今晚世界がなくなるうと、林檎の木を植えます。」といいました。私たちもキリストの再臨をまつとともに、本当の兄弟愛をもって良き手の業を励まなければなりません。

地位の争いはない「兄弟愛をもつて心から互いに愛しあい。」(ローマー二ノ一)

偽善がない「あなたがたは、真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったから、互いに心から熱く愛し合いなさい。」(一ペテロ一ノ二二)

永続する「兄弟愛をいつも持つていなさい。」(ヘブル一三の二)

二〇一四年七月一六日午後七時 祈祷会 山本牧師  
「終局の警告」(エゼキエル連続一四回)

「ついで、私に次のような主のことばがあった。人の子よ。イスラエルの地について、神である主はこう仰せられる。『もう終わりだ。この国の四隅にまで終わりが来た。』今、あなたに終わりが来た。私の怒りをあなたのうちを送り、あなたのすべての忌みきらうべきわざに報いをする。』（エゼキエル七ノ一〜三）

① イスラエルに終わりがやって来た（一〜一四）

② その時の悲惨な状況（一五〜二二）

③ 民の指導者の無力さ（二三〜二七）

エルサレム陥落三、四年前にエゼキエルはバビロン捕囚の地で預言をした。「戦い敗れて山河あり」とのことわざがあるが、ここには山河すら残っていない徹底的な破壊である。捕囚の民でありながら、彼らはヤーウエの神は必ず助けてくれるという、神風頼りのフワとした期待があった。そこには神を恐れ、罪を悔い改め、預言者の語る偶像からの聖別はなかった。これは二六〇〇年後の私たちの国の姿である。人々は食べ、飲み、娶り、嫁ぎしてこの世のことに精力を使っている時、滅びは俄かに襲ってくる。ノアの時の如しである。何時再臨の主の前に出ても恥ずかしくない聖潔と宣教の業に励んでいなければならない。

### 仮庵聖会

日時 八月一日(木)

場所 本部教会

聖書箇所 再臨待望聖会

一四日 午前二〇時

午後二時 山本牧師

午後七時 足達牧師

食事代 昼と夕 千円

仮庵聖会は教会の生命線です。世は益です。クリスチャンは鹿が谷川の水を慕うように、御言葉をしたため、聖霊を注がれリフレッシュする機会です。そして、聖霊により新しされ、キリストの証人として世に救いをのべ伝えるのです。

### 仮庵聖会洗礼準備会

八月十四日に洗礼式をします。希望者は洗礼準備会に出席してください。七月二十六日(土)、七月二十九日(火)、八月一日(金)、八月五日(火)、八月七日(木) 午後一時〜二時です。